

明星



「であい ふれあい そして未来へ」 ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

＝6年生を送る会を行いました<3月1日(金)>＝

6年生の卒業まで、あと11日あまりとなりました。3月1日(金)、白川小学校体育館で保護者の方もお招きして「6年生を送る会」を行いました。

前半は、1年生から順番にクラスの出し物をしました。1年生は、普段の授業を劇に見立てた出し物でした。学習リーダーが登場し、授業ごとに「めあて」の確認をしながら劇が展開されました。1限目の国語は「たぬきの糸車」の劇、2限目の体育は縄跳びやダンスの披露、3限目の音楽では鍵盤ハーモニカの演奏がありました。大きな声で6年生への思いがしっかりと伝えられていました。2年生は、太鼓演奏をしました。前半は、4人ずつパートに分かれ、それぞれが入れ替わって登場し「ヤマトタケルノミコト神楽」を演奏しました。後半は、8人の児童が息を合わせて、校内でよく聞く曲「手洗いダンス」をリズムにのって力強く演奏しました。3・4年生は「白川小学校クイズ」をしました。最近のクイズ番組風に音楽を流しながら問題を出したり、正解の出し方も4人の児童が答えのプレート



をもち、波を打ちながら表現するなど、見ていて楽しくなる工夫がされていました。5年生は「6年生にまつわる、誰でしょうクイズ」がありました。クイズでは6年生の一人ひとりについての問題が出されました。卒業生の1年生の時の「目」や「鼻」の部分の写真で提示し、「誰でしょう？」という問題など、ユニークな問題が出されました。卒業生が7人と限られているからこそ、一人ひとりの卒業生のことについて出題されていてとてもおもしろいクイズになっていました。どの出し物も、限られた時間の中でしっかりとアイデアがねられていて、みんなが一生懸命に取り組んでいました。6年生の出し物も6年間で振り返る内容で、「さすが、6年生！」といった内容のものでした。

後半は、在校生から卒業生へ、「呼びかけ」とともに縦割り班ごとにメッセージの書かれた寄せ書きがプレゼントされました。そのあと、6年間の思い出スライドを見て、最後にくす玉を割って6年生を送る会は終了しました。

今年の6年生を送る会も、在校生から6年生に対して、これまでお世話になった感謝の気持ちが十分に伝わる会になったと感じました。

ご参観にこられました、保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。

